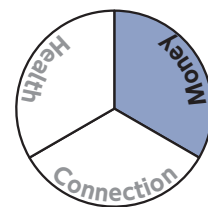


# 米国

## ～拙速な制限緩和で感染再拡大のリスク～



経済調査部 主任エコノミスト 桂畑 誠治(かつらはた せいじ)

### 懸念される感染拡大の第2波、第3波

新型コロナウイルスの米国での累計感染者数は5月6日時点で約124万人、死者数は約7.2万人とともに世界最多となっている。ただ、感染拡大を抑制するために、ロックダウン(都市封鎖)や外出制限のほか、密閉空間・密集場所・密接場面を避けるなど社会的距離を保つ政策の実施によって、感染者数の増加ペースは高水準ながら鈍化している。トランプ大統領は、米国での感染拡大はピークを付けたとの見方を示した。もっとも、新型コロナウイルスは感染力が高いほか、発症前でも感染するなどの特徴が報告されている。治療薬やワクチンが開発されていない段階での拙速なロックダウンや行動制限の緩和などを行えば、感染拡大ペースが再び加速する可能性があり、感染拡大の第2波、第3波が強く警戒されている。

### 拙速な規制緩和の動き

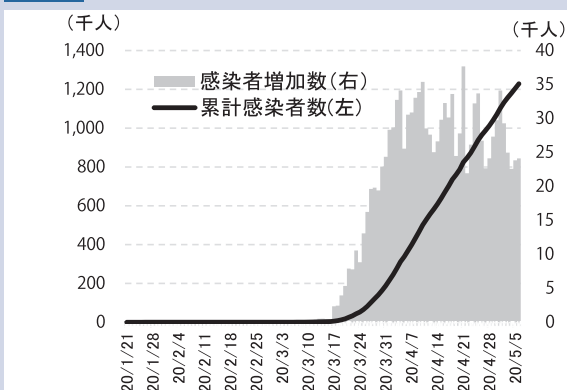
早期の経済活動の再開を期待している米政府は、4月16日に経済活動の再開のためのガイドライン「米国を再び開く(Opening up America Again)」を公表した。ガイドラインでは、制限緩和の条件として、感染リスクの高い医療従事者などへの検査態勢が整っていること、病院が通常の状態ですべての患者を治療できることなど、医療体制が整ったうえで、新型コロナウイルスの新規感染者数の増加ペースが14日間わたって鈍化することが挙げられた。この条件を満たした州・地域は、2週間単位で、制限の緩和を判断できる。最初の2週間条件を満たせば第1段階として、社会的な距離や感染予防措置がとれる場合、出勤を段階的に進めることを認める。また、レストラン、スポーツジムの営業再開を認める。次の2週間も条件を満たせば第2段階として、授業の再開、不要不急の移動を許可できる。第3段階では高齢者施設や病院を訪問できる。3段階の制限

緩和期間中も社会的距離をとるほか、マスク着用、検温、消毒を行うことを求めた。

外出制限の緩和は、州単位で行われるため条件なども州によって異なるが、連邦政府のガイドラインが最低条件となる。しかしこれらの条件を満たしていないにもかかわらず、共和党系の知事を中心に経済活動の再開を進めている。5月6日までに感染者の増加ペースが加速、あるいは高水準で横ばいの州を含む38州が制限の緩和を開始している。ジョージア州、ペンシルベニア州などでは、都市封鎖の解除を要求するデモがマスクを着けずに行われたり、車で集まって抗議を行い人命にかかわる救急車の通行を妨げたりする動きが出始めている。トランプ大統領はこれらの行動を非難するどころか行動を理解するコメントを出した。また、ニューヨーク州の公園やカリフォルニア州の海岸ではマスクをせずに大勢が集まるなど感染防止策を無視した動きがでている。

州の拙速な制限の緩和や、予防措置を取らない人々の行動によって、感染が再拡大する可能性が高まっている。感染拡大の第2波、第3波が起きれば、そのたびにロックダウンや外出制限が行われ、経済活動の休止によって経済基盤が崩壊し、米国経済は長期の景気停滞に陥る恐れがある。

資料1 米国での新型コロナウイルス感染者数の推移



(出所)WHO等各種資料より第一生命経済研究所作成